

県下の交通事故(2月25日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
56年	415件	8人	541人
55年	462件	12人	582人
比較	-10.2%	-33.3%	-7.0%



第51号

発行所
甲府市丸の内一丁目6-1
財団法人山梨県交通安全協会
TEL 甲府(0552)37-7827



桃娘も出動、シートベルトの着用を呼びかけた

みんなで守ろう子供と老人

4月6日~15日 春の全国交通安全運動

無謀運転の追放

シートベルト着用を推進

昭和五十六年春の全国交通安全運動は、四月六日から十五日まで十日間、全国一斉に実施されます。本県が決めた運動の重点は、①歩行者、特に新入学(園)児を中心とした子供の交通事故防止、②自転車の安全利用の促進、③無謀運転の追放、④シートベルト・ヘルメット着用の推進です。昨年は、交通事故死者が激増し、増加率が全国ワースト第二位という汚名を記録しました。本年は、交通事故死者抑止目標百八人以下を達成するよう、県民総ぐるみの運動を展開しましょう。

自転車の安全利用と

二輪車の昼間点灯

この運動は、県民一人ひとりに、交通安全思想を普及徹底し、正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的として行われます。家庭、運転者、歩行者は、特に次のことを守りましょう。

子供を交通事故から守ろう
子供と一緒に通学路を歩



安全のため

減速はむすかしいが、減速工学という新語を発明して、世に問うてから早くも十年になる。事故、災害の原因解明にあたって、いかに再発を防止するかという命題と取り組んでいるうちに、どうやら共通した要因として、「減速に弱い」という力学的な法則が、関係しているのではないかと思いついたのである。

減速に弱い人と車(1)

東海大学教授 村野賢哉

そこで、わたしは「運動する物体は減速状態では不安定になりやすい」という仮説をかかげ、この自然法則を実証するために多くの事例研究を行い、そして、加速はやさしいが減速はむすかしく、下手をすると失速のおそれがあるという「わが減速論」を提言したのである。

●なぜ減速は危いのか
よく交通違反の槍玉にあげられる「スピードの出過ぎ」というのは、加速時に危険が増大するというこ

●ブレーキでは止まらない
その上、自動車は構造的に減速に弱点を持っていることが、案外知られていないことが問題なのである。ブレーキでは止まらないのだ。

●ブレーキでは止まらない
その上、自動車は構造的に減速に弱点を持っていることが、案外知られていないことが問題なのである。ブレーキでは止まらないのだ。

●ブレーキでは止まらない
その上、自動車は構造的に減速に弱点を持っていることが、案外知られていないことが問題なのである。ブレーキでは止まらないのだ。

●ブレーキでは止まらない
その上、自動車は構造的に減速に弱点を持っていることが、案外知られていないことが問題なのである。ブレーキでは止まらないのだ。

とよりも、減速が困難になり、減速時の不安定性を増大させ、そのことが大惨事になることが多いというこ

●ブレーキでは止まらない
その上、自動車は構造的に減速に弱点を持っていることが、案外知られていないことが問題なのである。ブレーキでは止まらないのだ。

●ブレーキでは止まらない
その上、自動車は構造的に減速に弱点を持っていることが、案外知られていないことが問題なのである。ブレーキでは止まらないのだ。

●ブレーキでは止まらない
その上、自動車は構造的に減速に弱点を持っていることが、案外知られていないことが問題なのである。ブレーキでは止まらないのだ。

●ブレーキでは止まらない
その上、自動車は構造的に減速に弱点を持っていることが、案外知られていないことが問題なのである。ブレーキでは止まらないのだ。

も、飛行機でも、要するに運動する物体には共通の原理である。「車はすぐには止まらない」「車はすぐには曲がれない」。

●ブレーキでは止まらない
その上、自動車は構造的に減速に弱点を持っていることが、案外知られていないことが問題なのである。ブレーキでは止まらないのだ。

●ブレーキでは止まらない
その上、自動車は構造的に減速に弱点を持っていることが、案外知られていないことが問題なのである。ブレーキでは止まらないのだ。

●ブレーキでは止まらない
その上、自動車は構造的に減速に弱点を持っていることが、案外知られていないことが問題なのである。ブレーキでは止まらないのだ。

●ブレーキでは止まらない
その上、自動車は構造的に減速に弱点を持っていることが、案外知られていないことが問題なのである。ブレーキでは止まらないのだ。



家庭で話し合いをしよう
子供、老人、身体の不自由な人、交通事故から守るよう話し合いをしましょう。

●ブレーキでは止まらない
その上、自動車は構造的に減速に弱点を持っていることが、案外知られていないことが問題なのである。ブレーキでは止まらないのだ。

●ブレーキでは止まらない
その上、自動車は構造的に減速に弱点を持っていることが、案外知られていないことが問題なのである。ブレーキでは止まらないのだ。

●ブレーキでは止まらない
その上、自動車は構造的に減速に弱点を持っていることが、案外知られていないことが問題なのである。ブレーキでは止まらないのだ。

県安協に寄付

甲府市御岳町夫婦木神社 齋主鈴木一光さん(東京都江東区東陽五丁目二八六一)は、このほど県交通安全協会を訪ね「交通安全運動にお使いください」と、金五万円を寄付しました。県交通安全協会では、鈴木さんのご厚意に感謝するとともに、寄付金は春の全国交通安全運動の一部に役立てることにしました。



居眠り運転

「春眠暁を覚えず」寝心地のよい季節である。やわらかな春風を窓にうけて、運転台にすわって単調な運転を続けていると、つい居眠りが出る。居眠りやうたたねは、お行儀の悪いことだが、気持ちのよいものでありストレス解消などには大いに役立つものである。居眠りの功罪は、それが単なる生理的現象としてすまされる場合と、生理的現象だから仕方ないでは済まされない。毎年、居眠り運転による死亡事故が各地で発生し、一瞬のうちに家族が惨死したり、複数事故になっていたり。昨年の死亡事故の原因別では、過労などによる居眠り運転で、十三人が死に、いかに居眠り運転が恐ろしいかを物語っている。人間は、単調、疲労、緊張の余り眠気に襲われることがある。そんなときは、こらえることをせず、早々に自分の転換を図ることだ。交通安全協会では、県警と協力して、居眠り運転防止のため「ガム作戦」を展開したことがある。「眠くなったらガムをかめ」と、街頭で長距離運転者にチューインガムを配った。医学的にも、実験的にも効果があるという。眠気を催したら、窓を開けて冷気にふれる。車から降りて屈伸運動や深呼吸を行う。飲みものを取ったり、ガムをかんで気分転換をはかる。いずれも「目覚まし信号」を脳へ送る方法である。もっとも確実な方法がある。眠くなったから運転を止めて眠ることであるが、その前に心掛けべきことがある。明日の運転に備えて、十分な睡眠をとっておくことが、春の運転にはとくに大切である。



ことしは死者を108人以下に抑えよう

昨年の交通事故

死者激増の傾向

全国の事故

警察庁がまとめた、昭和五十五年中の交通事故は、件数四十七万六千五百八十一件、死者八千七百六十八人、傷者五十九万八千九百九十人で、件数、死者、傷者とも、いずれも増加しています。死者連続減少の記録は九年でストップ

死者半減、達成ならず

再び交通戦争の激化

その十年連続減少と、死者ピーク時の半減を目標に、死亡事故抑止を図ってきたが、残念ながら死者は一転して増加傾向を示し、前年に比べて二百九十四人の増となり、ついに死者連続減少の記録は九年でストップし、ピーク時の半減目標を達成することはできませんでした。

警察庁では、本年を初年度とする「交通安全施設等整備新五カ年計画」によって、終年の昭和六十年には全国の交通事故死者を、八千人以下とする目標を定めています。

県下の事故

県下の昨年の交通事故は、件数三万八千四百四十四件、死者百二十五人、傷者四千九百六十六人で、前年に比べ件数は七十四件の増(二・〇%)、死者は二十九人の増(二〇・二%)、傷者は二十七人の減(〇・五%)となっています。

死者増加率は全国ワースト二位
本県の交通事故死者は、昭和四十六年をピークとして連続減少し、昭和五十二年には百人となり、ピーク時の二百二十七人に對し、全国にさがけて半減を達成することができました。そして、一昨年には九十六人となり、二十年ぶりに待

新入学児のお母さんへ

あなたがお手本です

一緒に通学路を歩こう

四月は新入学(園)児の登下校など、交通事故の心配のときです。子供の交通事故の責任は親にあるとも言われ、とりわけ母親の指導は重要です。子供の特性を正しく理解し、交通安全の基本を身につけさせてください。

大切な交通安全のしつけ

交通安全のしつけの原則

死亡事故の違反原因別

望の二ケタを達成しました。ところが、昨年は県民の悲願もむなしく、二百二十五人と逆に増加し、前年対比の増加率は、熊本県に次いで全国ワースト第二位という不名誉な記録となりました。

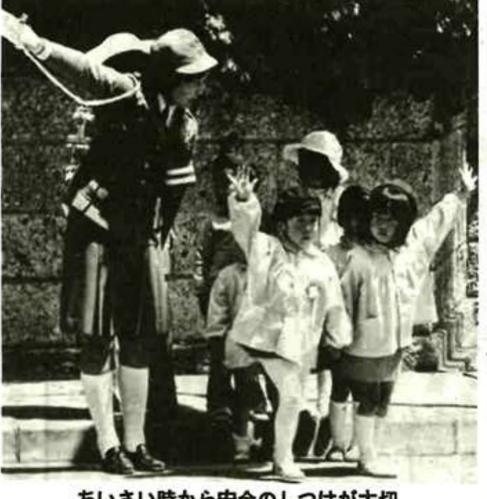
人口十万人当たりでは全国ワースト一位

これを、人口十万人当たりの死者数で見ますと、全国平均が七・五人であるのに対し、本県は一五・五人で、二倍以上も高く、全国ワースト第一位という、極めて危険度の高い県となっています。

ことしは百八人以下に

県警の死者抑止目標

県警は、ことしの交通事故死者抑止目標を、百八人以下とするに決まっています。



小さい時から安全のしつけが大切

① 横断歩道の渡り方をいちはんに教えてあげましょう

② 道路のへりではかならずいったん止まる習慣を、道路を渡る時は車道に少し立ち止まり、必ず立ち止まり、周囲の安全を確認してから渡りましょう。また、左右を確認してから、その車が立ち止まっているから渡るように教えます。

③ 子供の交通事故原因の八割が、とび出しです

車のスピードは、速くは止められないほど速いものです。どんなに急いでいても、車がたとえ遅くても、決して道路へとび出さないよう、厳しく教えてあげてください。子供の性格上、道路の向こう側から友だちや母親に声をかけられたり、ボールを追いかけたら、犬いっしょに走る場合などが最も危険なときです。

④ 車の直前直後の横断も事故の多いケースの一つ、子供の事故では、とび出しに比べて多いのがこれです。駐車中の車や通り過ぎた車のすぐ後ろを横断すると、反対側から車がくることがあります。また、いったん止まってくれた車の前を渡るうとする、その車のかげから急に別の車がでて、はねられる場合があり、よく注意して指導してあげてください。

⑤ 忘れものをしないように登校の途中で、忘れものに気がつき、あわててかき出すのが最も危険です。

⑥ 一緒に通学路を歩いて安全の確認を

できたら週に一度は、子供と一緒に通学路を歩いて、安全を確認してあげてください。また、「ここで、はこうするよ」と、具体的に「お母さんお手本を示して習慣にするように教えてください。」

⑦ みちくさのクセをつけないようにしよう

学校に少しなれてくると、子供は帰り道のみちくさを覚えるものです。事故は、この開放された下校のときに発生しがちです。学校が終わったらまっすぐ家路につくことを習慣づけてください。

また、少し遅まわりになっても、車の少ない安全な通路を通るように約束しておきたいものです。

⑧ 路上での遊びには、じゅうぶんに注意しましょう

都会では遊び場が少なく、なごりや遊歩道が、路上や道路の近くで遊ぶのは絶対やめさせてください。前もって、遊んでもいい場所、安全な場所(公園や広場など)を覚えておき、そこ以外では遊ばないように注意しましょう。日ごろから家の付近に危険な場所はないか、チェックしたり、子供の話しを聞いてみるのも安全な方法です。

子供の交通事故の大半は自宅から一〇メートル以内で起きています。また、週間で土曜日、日曜日が多く、とりわけお母さんが夕食の仕度や忙しい四時ごろが多くなっています。すなわち子供の事故は学校や幼稚園、保育園から解放された時、家の近くで起きていくことです。

シートベルトの着用は

シートベルトの着用は、昨年、四輪自動車に乗車中の死者は、五十七人です。このうち、シートベルト

本県には、毎年三千万人の観光客が入県するといわれています。したがって、県外車による事故も多くなっています。

本県には、毎年三千万人の観光客が入県するといわれています。したがって、県外車による事故も多くなっています。

から算定すると、昭和六十年の本県の抑止目標は九十六人となるので、これを目標に漸次減少させることとし、本年の抑止目標を百八人以下としたものです。

から算定すると、昭和六十年の本県の抑止目標は九十六人となるので、これを目標に漸次減少させることとし、本年の抑止目標を百八人以下としたものです。

雑感 交通安全スローガン

時代の交通情勢を反映 事故防止の決め手に

全国各地からの応募、二十一万九千三百四十六点の中から選ばれたというだけあって、いずれもすばらしい傑作です。今回の特徴は、ユックリズムの提唱で、その言葉の中に、「貫して流れているものは「あせらずあわてず ゆっくり」とです。

昭和四十一年から

交通安全年間スローガンの募集は、全日本交通安全協会が、総理府、警察庁など、関係官庁の後援で行うもので、昭和四十一年に始まり、今回で十六回目です。

世界の願い 交通安全

昭和四十一年の、第一回公募で、最優秀作品に選ばれたのは、「世界の願い 交通安全」。「もう一度 よく見て渡れ手をあけて」。

交通戦争の危機感

昭和四十年代の中ごろは、交通戦争という言葉がさかんに使われたときで、交通事故の死者が全国的にピークに達した四十六年前のこのスローガンは、「カッとする 心の動きが事故のもと」「ヒヤッとした あの一瞬を 忘れるな」「とっさの時に 避けられずか その運転で」「表現もなかなか真に迫っています。」「アツくない そのスピードが 死を招く」。

金丸まゆみさんが入選

年間スローガンの佳作に

農林高3年



金丸まゆみさん

全日本交通安全協会が募集した、昭和五十六年交通安全

安全年間スローガンに、中巨摩郡昭和町西条、農林高校三年生金丸まゆみさん（一八）の作品が、県内でただ一点、佳作に入選しました。

金丸さんの作品は「ママの手は、かわいいほうやの命綱」という歩行者向けの

無謀運転を戒めるものが目立ち、また、歩行者の防衛策として「手をあけて」というのが多かったのもこのころです。

オイルショックと省エネ時代

その後、昭和四十八年オイルショックの時の最優秀作品「せまい日本 そんなに急いでどこへ行く」は、石油ショックでいらだつ人びとに温い励ましとなり、文字どおり「せまい日本」の津々浦々まで広まっています。いつまでも心の底に焼きついていきます。そして省エネルギー時代を迎え「急ぐほど 減らす燃料増す危険」が、昭和四十九年の最優秀作品に選ばれ、「経済速度」という言葉が、「安全速度」によって変わって登

シートベルト着用

不景気が続く中で、昭和五十一年ごろから、交通死者抑止のためには、なんとシートベルトの着用も効果的と見られるようになった。「シートベルト 締めろ一秒 守る一生」。

自転車安全整備制度

整備不良自転車の一掃に

自転車利用者の交通事故を防止するため、昭和五十二年十二月の道路交通法の改正により、普通自転車の大きさを規定し、安全基準が定められ、道路標識等により自転車の通行が認められてはいるが、現在一般家庭などで使用されている自転車については、安全基準に適合するよう点検整備を推進する必要があります。



これから新しく生産される普通自転車については、国家公安委員会の「普通自転車の型式認定制度」により、安全基準に適合する普通自転車を推奨することになります。現在一般家庭などで使用されている自転車については、安全基準に適合するよう点検整備を推進する必要があります。

もので、女性らしいやさしさがにじみ出ています。金丸さんは、自宅から四キロの道を自転車通学していたので、時には「ハッ」とするような幼児の危ない光景を見かけることがあり、「お母さんたちは気がつけなくちゃ」と思っていたので、その気持ちをそのまま表現したといえます。

農林高校では学校ぐるみで応募農林高校では「全校で交通安全問題を真剣に考えよう」と話していました。

人柄を示すものとして、飲酒運転追放の「一杯と 交換できるか この命」。

ゆつくり走ろう運動の展開

昭和五十年代に入り、「ゆつくり走ろう運動」が全国的に展開され、「なげ急ぐ ゆつくり走る時代です」。

マナーとしつけの提唱

昭和五十年代に入り、「ゆつくり走ろう運動」が全国的に展開され、「なげ急ぐ ゆつくり走る時代です」。

特徴として、国民皆免許時代を迎えて、ゆとり、ゆずり合い、マナーといった相手方に対する思いやりと、つかいというように、交通問題を国民すべての問題としてとらえた作品が目立っています。

事故防止の決め手に

交通安全スローガンは、いすれも味わいがあり、行動に移したいものばかりです。これを、単なるお題目

に終ることのないように、その意味をじっくりと読みしめ、ドライバーも、歩行者も、いっしょの心の中でお互いにお互い、一人ひとりがお互いに交通安全事故を起こさないように、また、交通事故にあわないようにしたいものです。

特報！ けん引免許が簡単にとれるようになりました！

山梨自動車学校では — 山梨県下で初めてけん引免許の実地試験免除卒業制度の指定を受け教習を開始しました。



- ◎ チャンス到来！ アタックしてみませんか。
- ◎ けん引（トレーラー）免許をとって、あなたは **大ベテラン**
- ◎ 教習申しこみ 格一普通・大型・大特免許のうち、いずれかをお持ちの方
- ◎ 細かい点については、お気軽に電話でお問い合わせください。

注 今まで当校で教習しておりました、けん引免許の通称一発コースも引続いて行なっておりますので、どちらを選んでも結構です。

財団法人 山梨県交通安全協会立
公認 山梨自動車学校

山梨県中巨摩郡八田村 免許センター内
TEL 05528-5-0752(代)

当校は**全車種**（普通車、大型、大型二種大特、けん引、普通二種、自動二輪車（大型・中型・小型）の教習を行なっている **総合訓練校**です。

古い伝統、新しい教習、県下一広いコースで早い上達ができます。